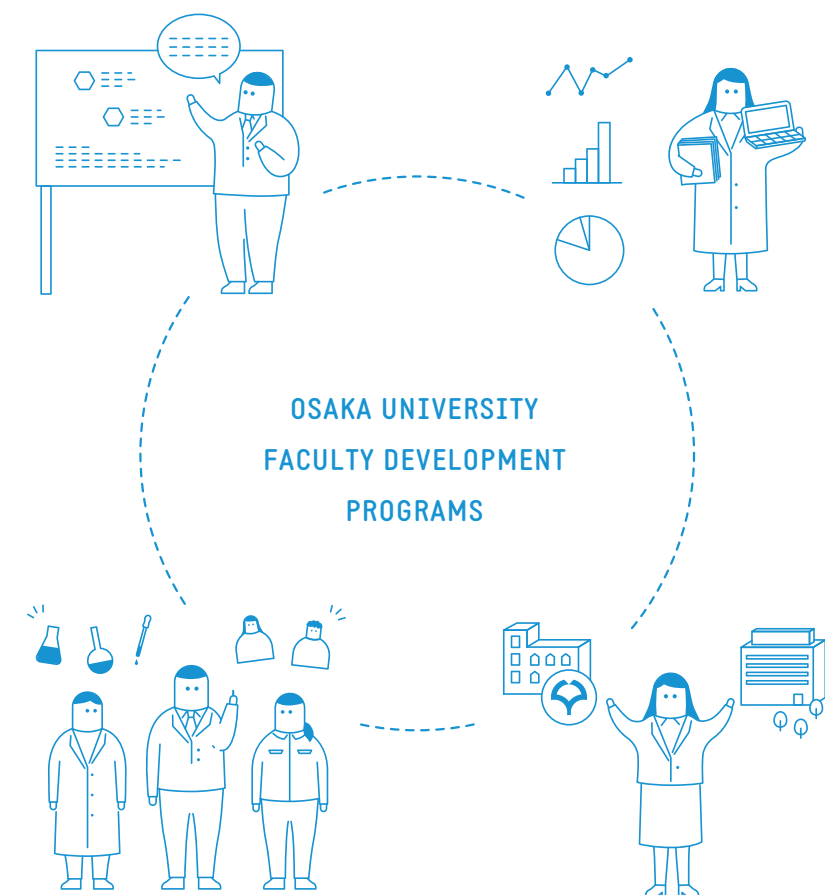


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

2021 年度

10 月～3 月

大阪大学教員の皆様へ

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大により私たちの日常生活は一変しましたが、本学では、教育・研究活動への影響を最小限とするため、できるだけ平常時に近い状態で大学活動を行えるよう対応を進めてきました。また、学生の学びを止めることのないよう円滑な授業実施を実現するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策やメディア授業の準備など例年以上の対応にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

このような状況の中では、これまで以上に高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことが重要であると考えています。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取組によって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。また、コロナ新時代に対応したプログラムも多数開催されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

ウィズコロナの時代を迎えて、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取組を行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2021年後期のFD研修でも多岐にわたるプログラムが開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

＜各プログラムの受講必須時間＞

- ▶ **教育能力 開発プログラム** 10時間以上
- ▶ **研究能力 開発プログラム** 4時間以上
- ▶ **社会学連携能力 開発プログラム** あわせて6時間以上
- ▶ **マネジメント能力 開発プログラム** あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE（授業支援システム）」の「コミュニティページ」にて確認することができます。

🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部署の事務にお問合せください。

修了証書

あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日
大阪大学理事・副学長

📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します（上限120時間）。

詳しくは、こちら → https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

🔗 研修プログラム一覧〈令和3年度下期(2021.10～2022.3)通年開催分〉

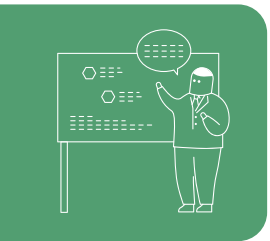
カテゴリ	掲載 ページ	対象者の 限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
10月									
教育	P.6	－	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	10月6日 15:10-16:40	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	－	ブレンデッド授業の実施法	豊中	10月7日 13:00-14:30	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.19	○	学生支援における キャンパスライフ健康支援センターの活用や連携について	箕面	10月7日 16:00-17:00	1	約120名	日本語	言語文化研究科・外国語学部
教育	P.6	－	オンラインビデオ教材作成法 (Echo編)	オンライン	10月11日 13:30-15:00	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部 サイバーメディアセンター
教育	P.7	－	グループ学習を授業に導入する	オンライン	10月12日 13:30-15:00	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.19	○	2021年度ハラスメント防止講習会	豊中	10月14日 17:30-19:00	1.5	100名	日本語	文学研究科
研究	P.12	－	STEMコンピューティング・プラットフォームMaple講習会	オンライン	10月15日 9:00-12:00	3	300名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.7	○	高等司法研究科授業見学会	豊中	10月18日 ～29日 (日時未定)	各回 1.5	各回 数名程度	日本語	高等司法研究科
教育	P.7	－	オンラインビデオ教材作成法 (初級編)	オンライン	10月21日 13:30-15:00	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	－	ブレンデッド授業の設計法	オンライン	10月26日 12:15-13:15	1	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社会学連携	P.16	－	「オンライン市民参加型イベント」における ファシリテーションの技法	オンライン	10月26日 13:00-14:30	1.5	20名	日本語	社会技術共創研究センター
社会学連携	P.16	－	研究成果をアウトリーチする：広報と何が違うのか？	オンライン	10月27日 15:00-16:00	1	50名	日本語	免疫学フロンティア 研究センター
教育	P.8	－	オンラインビデオ教材作成法 (中級編)	オンライン	10月28日 13:30-15:00	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.19	－	大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV) の利用について	オンライン	10月	1	－	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	－	実験系廃液・排水の取扱い	オンライン	10月	1	－	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	非化学系のための化学薬品取扱講習	吹田 豊中 オンライン	10月	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	詳解：化学物質安全取扱講習	吹田 豊中 オンライン	10月	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)	吹田 豊中 オンライン	10月	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)	吹田 オンライン	10月	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	－	大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習	吹田 豊中 オンライン	10月	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	－	電気コンセントと電気配線の安全講習	オンライン	10月	1	－	日本語	安全衛生管理部
11月									
研究	P.12	－	日本の科学技術政策の現在と課題 ―第6期科学技術・イノベーション基本計画を中心に―	オンライン	11月9日 16:30-18:00	1.5	90名	日本語	社会技術共創研究センター
教育	P.6	－	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	11月11日 13:30-15:00	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社会学連携	P.16	－	研究成果のプレスリリース、どんな効果があるの？ ～国内外から信頼と共感を得るための広報活動～	オンライン	11月11日 14:00-15:30	1.5	50名程度	日本語	グローバルイニシアティブ機構 企画部広報課
マネジメント	P.21	○	ハラスメント防止に関する研修会	オンライン	11月11日 15:00-15:45	0.75	－	日本語	高等司法研究科、法学研究科、 知的基盤総合センター
社会学連携	P.17	－	大阪大学総合学術博物館の役割とその活用方法	豊中	11月15日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
研究	P.12	－	研究評価を知る―日本の制度と海外の状況	オンライン	11月16日 16:30-18:00	1.5	90名	日本語	社会技術共創研究センター
マネジメント	P.21	○	言語文化研究科ハラスメント防止研修会	豊中	11月18日 15:10-15:40 予定	0.5	未設定	日本語	言語文化研究科
教育	P.8	－	シラバスの書き方	オンライン	11月25日 15:10-16:40	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.22	－	ハラスメント防止等に関する研修会	オンライン	11月25日 14:00-16:00	2	－	日本語	人権問題委員会
社会学連携	P.17	－	大阪大学の歴史	豊中	11月26日 15:30-17:00	1.5	40名	日本語	アーカイブズ
マネジメント	P.22	○	蛋白防災安全講習会	吹田又は オンライン	11月頃	1	200名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.22	○	コンプライアンス講習会	吹田又は オンライン	11月頃	1	200名	日本語	蛋白質研究所

※掲載内容は8月20日時点の情報です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載 ページ	対象者の 限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
12月									
研究	P.12	－	研究室の教育指導	オンライン	12月1日 13:00-15:00	2	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	－	ブレンデッド授業の評価	オンライン	12月2日 12:15-13:15	1	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	○	アセスメントの視点を取り入れた学生支援	豊中	12月2日 17:00-18:00	1	未設定	日本語	基礎工学研究科
教育	P.8	－	シラバスの書き方	オンライン	12月7日 15:10-16:40	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.12	－	研究室の教育指導	オンライン	12月14日 13:00-15:00	2	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
2月									
教育	P.9	－	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	オンライン	2月7日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	国際教育交流センター キャリアセンター
教育	P.9	－	授業づくりワークショップ	豊中	2月8日～9日 各日10:00-18:00	20	4～16名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	－	グループ学習を授業に導入する	オンライン	2月24日 13:30-15:00	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	－	オンラインビデオ教材作成法 (Echo編)	オンライン	2月28日 13:30-15:00	1.5	－	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部 サイバーメディアセンター
複数月開催									
教育	P.9	○	高等司法研究科FD講演会 (外部講師によるモデル授業、意見交換会)	オンライン	10月～12月	各回3	－	日本語	高等司法研究科
研究	P.13	○	生命機能研究科コロキウム (FBS 研究交流会)	オンライン	週1回木曜日 12:15-13:00	0.75	300名まで	日本語 / English	生命機能研究科
社会学連携	P.17	－	映画「洪庵と1,000人の若ものたち」鑑賞と解説	オンライン	10月～3月 (随時)	1.5	－	日本語	適塾記念センター
未定									
研究	P.13	－	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学における オープンアクセス支援	オンライン	10月～3月	1	－	日本語	附属図書館 経営企画オフィス URA 部門
研究	P.13	○	研究成果 (文科系) の発信：書籍	オンライン	未定	1	50名	日本語	人間科学研究科
研究	P.13	○	RIMD FD seminar series: Academic English Course for RIMD Researchers	オンライン	未定	1.5	－	日本語 / English	微生物病研究所
社会学連携	P.17	－	新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を巡る～	適塾および アイズボット	未定 (2月～3月頃)	1.5	25名	日本語	適塾記念センター
社会学連携	P.18	－	適塾から受け継ぐレガシー - 歴史・精神・文化財 -	吹田	未定 (2月～3月頃)	2.5	40名	日本語	適塾記念センター
マネジメント	P.23	○	キャンパスハラスメントに関する研修会	箕面	未定	1	約100名	日本語	言語文化研究科・外国語学部
マネジメント	P.23	○	ハラスメント防止に関する講習会	吹田 オンライン	11月～2月の うち1日 14:00-15:30	1.5	50名	日本語	産業科学研究所
随時・定期開催									
教育	P.10	－	ファカルティ・ディベロップメント (FD) 特別フォーラム	オンライン	2021年4月～ 2022年3月	0.25	－	日本語	ファカルティ・ディベロップ メント委員会
教育	P.10	－	コンサルティングサービス ―授業改善などのための個別相談―	オンライン	随時	1	各回 数名程度	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	○	対面 / オンライン併用型授業の実施方法	オンライン	随時	1.5	－	日本語	法学部・法学研究科 高等司法研究科
教育	P.10	○	FD研修会	吹田又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回1	各回60名 程度	日本語	蛋白質研究所
教育	P.11	－	メディア授業講習会	オンライン	2021年4月1日～ 2022年3月31日	3	－	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.11	－	授業支援システム (CLE) 入門講座	オンライン	2021年4月1日～ 2022年3月31日	1.5	－	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.11	－	授業支援システム (CLE) 応用講座	オンライン	2021年4月1日～ 2022年3月31日	1.5	－	日本語	サイバーメディアセンター
研究	P.14	○	ISTランチセミナー	吹田又は オンライン	毎週1回程度 12:00-13:00	各回1	各回15名	日本語	情報科学研究科
研究	P.14	○	ISTネットワークングイベント	吹田又は オンライン	2ヵ月に1回	1.5	各回50名	日本語	情報科学研究科
研究	P.14	○	不正防止について	オンライン	4月中旬頃～ (適宜)	0.33	－	日本語 / English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.14	○	アドバンストセミナー	吹田又は オンライン	毎月1回 (3月を除く) 16:00-17:00	1	未設定	日本語 / English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	微研集談会	吹田又は オンライン	毎月第4火曜日 (12・1月を除く) 16:00-17:00	1	未設定	日本語 / English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	蛋白研コロキウム	吹田又は オンライン	隔月1回程度 (日時未定)	各回 0.5	各回60名 程度	日本語	蛋白質研究所



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

オンライン 10月6日 15:10-16:40、11月11日 13:30-15:00

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる方法を説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせることでアクティブ・ラーニング型授業をデザインするワークを行います。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

ブレンデッド授業の実施法

講師：浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)

村上正行(全学教育推進機構 教授)

根岸千悠(全学教育推進機構 特任助教)

豊中 10月7日 13:00-14:30

〈キーワード〉ブレンデッド授業・学習、ハイフレックス型授業・学習、ICT活用

〈概要〉全学的に推進されているブレンデッド教育の中でも、対面とオンラインの学生が混在するハイフレックス型で授業を実施する場合、両者に高品質な音声や映像を提供することが授業を成立させる鍵となります。本研修では、まず前半にハイフレックス型授業の特徴や留意すべきこと、および実際に必要な機材や設置方法等を紹介し、後半では、機材の設置や設定を実演し、対面とオンラインでのやりとりがどのようにできるか、起こりやすいトラブルをどのように解決するかを体験し、ノウハウを共有していただきます。
※当日は、可能であれば、Zoomがインストールされたパソコンとイヤホンをご持参ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



25名 1.5時間 日本語 対面

オンラインビデオ教材作成法（Echo編）

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)

浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)

オンライン 10月11日 13:30-15:00、2月28日 13:30-15:00

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるEcho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵or外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用その他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業等での活用方法をご検討いただきます。
※当日は（可能であればウェブカメラ付の）パソコン（WindowsもしくはMac）および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

グループ学習を授業に導入する

講師：西森年寿(人間科学研究科 教授)

大山牧子(全学教育推進機構 助教)

オンライン 10月12日 13:30-15:00、2月24日 13:30-15:00

〈キーワード〉グループ学習、授業デザイン、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニング型の授業が注目されています。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとりいれて良いのかお困りではないですか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中でどのように導入するかを考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

限定 法学系全教員のみ対象

高等司法研究科授業見学会

講師：高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した教員

豊中 10月18日～29日（日時未定）

〈キーワード〉説明、指示、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。これにより、学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルを習得し、教育能力を向上することを、目的とします。

《受講申込先：高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員にメール発出》

《問合せ先：高等司法研究科 教務係》 hokou-kousikyomumu@office.osaka-u.ac.jp》

各回
数名程度 各回
1.5時間 日本語 対面

オンラインビデオ教材作成法（初級編）

講師：権藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 10月21日 13:30-15:00

〈キーワード〉ビデオ講義、教材作成

〈概要〉新型コロナウイルスの感染拡大によるメディア授業の増加をきっかけに、ビデオ教材を用いたメディア授業を実施する機会が増えています。本セミナーでは、メディア授業を効果的に実施するためのビデオ教材の作成ができるようになることを目指します。具体的には①パワーポイントに映像や音声を入力する②音声入力後のスライド調整について理解する③Windows10 フォトやQuickTimeを用いた簡易編集について理解することを目指します。また、本セミナーでは参加者にサンプル教材を配布し、実際に講義ビデオを作成しながらセミナーを受講いただきます。
※本セミナーでは動画作成にMicrosoft 365のPowerPointを使用します。事前のインストールをお願い致します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



25名 1.5時間 日本語 オンライン

ブレンデッド授業の設計法

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンライン 10月26日 12:15-13:15

〈キーワード〉ブレンデッド授業・学習

〈概要〉ブレンデッド授業とは、対面とオンラインを学習効果が最大限に高まるように組み合わせることで、統合した授業法のことです。本研修では、その設計方法の基礎について学びます。尚、CLEの使用方法については扱いません。別途、サイバーメディアセンターが提供するCLE研修を受講ください。

〈目的〉ブレンデッド授業を設計するために必要な基本的なポイントを理解する。

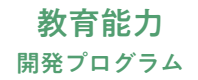
《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



制限なし 1時間 日本語 オンライン

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



《問合先：基礎工学研究科 教務係 ☐ ki-kyomu@office.osaka-u.ac.jp》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

《問合先：国際教育交流センター ☐career@ciee.osaka-u.ac.jp》



《問合先：全学教育推進機構 教育學習支援部
 https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/cdws-workshop.html tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



《問合先：高等司法研究科 教務係》 hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp》



未設定

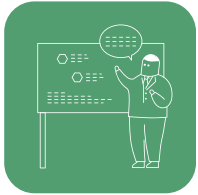


各回
3時開



日本語

※ 掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンタイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

ファカルティ・ディベロップメント (FD) 特別フォーラム

講師：田中敏宏(大阪大学 理事) 他

オンライン 2021年4月～2022年3月

〈キーワード〉ブレンデッド教育、メディア授業、新型コロナウイルス対応、学生アンケート、GPA、学生相談、障がい学生支援、留学生受入・派遣 等

〈概要〉新型コロナウイルス感染拡大により、従来の授業の実施が困難であった令和2年度において、ブレンデッド教育を目指したメディア教育に積極的に取り組んだことをふまえ、コロナ禍における本学の教育実践の総括と今後の展望について、各講師から講演いただきます。

《問合先》：教育・学生支援部教育企画課 総務係 ☎gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

オンライン 随時

〈キーワード〉授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉授業デザインやシラバス、教授法、評価など、教育に関する様々なご相談を承っております。ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。お気軽に申込先のWebフォームからご連絡ください。
(これまでのご相談例)・リアルタイムのオンライン授業でグループ学習を実施したい
・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
・英語での講義を担当することになったが、不安である
・研究室をうまくマネジメントできない

《問合先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/consulting.html ☎tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

限定 法学部・法学研究科、高等司法研究科のみ対象

対面/オンライン併用型授業の実施方法

講師：法学部教務委員 他

オンライン 随時

〈キーワード〉ブレンデッド教育、ハイフレックス授業、技術的対応

〈概要〉対面とオンラインを併用して授業を行う際の技術的な対応策の概要説明・情報共有

《受講申込先》：事前の受講申込は不要

《問合先》：法学研究科 教務係 ☎houkou-hougakukyomu@office.osaka-u.ac.jp》

限定 蛋白質研究所のみ対象

FD研修会

講師：各回によって異なる

吹田 又は **オンライン** 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年に数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《受講申込先》：開催の約1カ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定

《問合先》：蛋白質研究所 庶務係 ☎tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》



未設定 0.25時間 日本語 オンライン

各回
数名程度 1時間 日本語 オンライン

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

各回60名
程度 各回
1時間 日本語 対面又は
オンライン

メディア授業講習会

講師：白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)
竹村治雄(サイバーメディアセンター 教授)

オンライン 2021年4月1日～2022年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、メディア授業のコース作成方法の修得を目的に、授業支援システムCLEおよび各種システムの活用方法を学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《受講申込先》：事前の受講申込は不要。
CLEにログイン後「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。
参加方法： ☎https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0》

《問合先》：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☎ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

授業支援システム (CLE) 入門講座

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授) 他

オンライン 2021年4月1日～2022年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《受講申込先》：事前の受講申込は不要。
CLEにログイン後「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。
参加方法： ☎https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0》

《問合先》：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☎ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

授業支援システム (CLE) 応用講座

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授) 他

オンライン 2021年4月1日～2022年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《受講申込先》：事前の受講申込は不要。
CLEにログイン後「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。
参加方法： ☎https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0》

《問合先》：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☎ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》



未設定 3時間 日本語 オンライン

未設定 1.5時間 日本語 オンライン

未設定 1.5時間 日本語 オンライン

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力
開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

STEM コンピューティング・プラットフォーム
Maple 講習会

講師：未定

オンライン 10月15日 9:00-12:00

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉Maple の基本構成と原理、Maple の基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換

数学計算（1）（代数方程式、微分方程式の解法）

数学計算（2）（線形代数の計算）

その他の機能（GUI アプリケーションの開発等）

STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple の初歩的な操作方法の学習

《受講申込先：情報教育システム利用教員メーリングリスト等で開催告知》

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☒ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

日本の科学技術政策の現在と課題
—第6期科学技術・イノベーション基本計画を中心に—

講師：標葉隆馬(社会技術共創研究センター 准教授)

オンライン 11月9日 16:30-18:00

〈キーワード〉科学技術政策、科学技術基本法、科学技術・イノベーション基本法、科学技術基本計画

〈概要〉日本の科学技術政策の歴史と現状を概観し、2021年に施行された科学技術・イノベーション基本法とそれに基づく第6期科学技術・イノベーション基本計画によって生じる影響を理解することで、今後の研究活動環境・競争的資金の変化に関わる理解の基礎を構築します。

《受講申込先：社会技術共創研究センター（ELSI センター）のウェブサイト（https://elsi.osaka-u.ac.jp）に掲載される開催案内ページ内の申込みフォームから必要事項を入力》

《問合せ先：社会技術共創研究センター（ELSI センター） ☒info@elsi.osaka-u.ac.jp》

研究評価を知る—日本の制度と海外の状況

講師：標葉隆馬(社会技術共創研究センター 准教授)

オンライン 11月16日 16:30-18:00

〈キーワード〉研究評価制度、科学技術政策

〈概要〉日本の研究評価制度の現状を概観したうえで、国内外で導入されつつある研究評価の新しい視点（インパクト評価など）について知り、今後の研究評価制度の変化に対する理解を獲得します。

《受講申込先：社会技術共創研究センター（ELSI センター）のウェブサイト（https://elsi.osaka-u.ac.jp）に掲載される開催案内ページ内の申込みフォームから必要事項を入力》

《問合せ先：社会技術共創研究センター（ELSI センター） ☒info@elsi.osaka-u.ac.jp》

研究室の教育指導

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

橋爪章仁(理学研究科 教授)

オンライン 12月1日 13:00-15:00、12月14日 13:00-15:00

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念（ラボ・ポリシー）

〈概要〉ゼミや研究室での研究指導はうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念（ラボ・ポリシー）の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例などを通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☒tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

300名程度 3時間 日本語 オンライン



90名 1.5時間 日本語 オンライン



90名 1.5時間 日本語 オンライン



制限なし 2時間 日本語 オンライン

限定 生命機能科学研究科（兼任教員在籍の他理系部局含む）のみ対象

生命機能研究科コロキウム（FBS 研究交流会）

講師：年間計画表に準ずる（下記 URL 参照）

https://www.fbs.osaka-u.ac.jp/ja/news/detail/480

オンライン 週1回木曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉このセミナーシリーズは、週一回のランチタイムに生命機能研究科関係者、研究室ごと（入れ替わり）で、最新の研究紹介し、研究内容や課題を共有し研究交流促進が図られています。お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《受講申込先：受講対象者には、定期的に受講案内をメール配信》

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室 ☒fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp》

オープンアクセスを巡る状況と
大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

オンライン 10月～3月

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料（APC）を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、いわゆるハゲタカジャーナルの出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学ぶ。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解する。

《受講申込先：事前の受講申込は不要》

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係 ☒kikaku@library.osaka-u.ac.jp》

限定 人間科学研究科のみ対象

研究成果（文科系）の発信：書籍

講師：未定

オンライン 日時未定

〈キーワード〉出版、人間科学系、SCOPUS

〈概要〉研究成果を書籍として公刊することは研究者の主要な活動の1つである。書籍の出版に至る過程には様々なプロセスが存在し、初めての者には案外知られていない場合もある。本研修では、出版社の編集者から、研究成果の出版に至る過程を学び、受講者がより多く出版の機会を得ることを目的とする。

《受講申込先：部局内に通知予定。メールにて申込受付》

《問合せ先：人間科学研究科 庶務係 ☒jinka-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

限定 微生物病研究所のみ対象

RIMD FD seminar series:
Academic English Course for RIMD Researchers

講師：未定

オンライン 日時未定

〈キーワード〉研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉学術英文校正業者の担当者・講師を招き、論文投稿について基礎から学びます。論文投稿のプロセス、ジャーナルの選び方、アクセプトされる論文の書き方についても学びます。

《受講申込先：開催約1カ月前にメール通知後、申込受付》

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☒kikaku@biken.osaka-u.ac.jp》

300名 0.75時間 日本語/English オンライン

未設定 1時間 日本語 オンライン

50名 1時間 日本語 オンライン

制限なし 1.5時間 日本語/English オンライン

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式



研究能力 開発プログラム

限定 情報科学研究科のみ対象

IST ランチセミナー

講師：情報科学研究科 教員

吹田 又は **オンライン** 毎週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《受講申込先：研究科内の教職員宛に受講に係る通知を予定》

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室 [✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp](mailto:ura@ist.osaka-u.ac.jp)》

 各回
15名

 各回
1時間

 日本語

 対面又は
オンライン

限定 情報科学研究科のみ対象

IST ネットワーキングイベント

講師：本学教員

吹田 又は **オンライン** 日時未定（2ヵ月に1回）

〈キーワード〉融合研究、研究力向上

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科所属教員の融合研究の促進を目的とし、分野による考え方の違いを学び、ディスカッションします。

《受講申込先：研究科内の教職員宛に受講に係る通知を予定》

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室 [✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp](mailto:ura@ist.osaka-u.ac.jp)》

 各回
50名

 1.5時間

 日本語

 対面又は
オンライン

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センターのみ対象

不正防止について

講師：岡田雅人（微生物病研究所 所長・教授）

オンライン 4月中旬頃～（適宜）

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関するオリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReC に所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー（オンデマンド）が行われる。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務つける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とする。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

 未設定

 0.33時間

 日本語/
English

 オンライン

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、医学系研究科のみ対象

アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 又は **オンライン** 毎月1回（3月を除く） 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とする。

《受講申込先：各回の前月に開催案内を通知。受講希望者は事前申し込みなしに当日直接受講できる》

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

 未設定

 1時間

 日本語/
English

 対面又は
オンライン

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、医学系研究科のみ対象

微研集談会

講師：各回により異なる

吹田 又は **オンライン** 毎月第4火曜日（12、1月を除く） 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReC に所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究会セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーである。

《受講申込先：各回の前月に開催案内を通知。受講希望者は事前申し込みなしに当日直接受講できる》

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

 未設定

 1時間

 日本語/
English

 対面又は
オンライン

限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研コロキウム

講師：各回により異なる

吹田 又は **オンライン** 隔月1回程度（日程未定）

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質および蛋白質に関連した異分野融合研究の最新動向を知ることにより、所内研究者の研究に活かすことを目的として、主に所内教員の最新研究に関する講演を開催します。年に数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《受講申込先：開催1カ月前に本局構成員宛メールにて通知予定》

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 各回60名
程度

 各回
0.5時間

 日本語

 対面又は
オンライン

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾
や大阪大学の歴史など
本学への理解を深める
プログラムや、実社会
と連携した教育や研究
の進め方についてのプロ
グラムです。

◎受講にあたり、特別
な配慮が必要な場合、
開催2週間前までに
ご連絡ください。
◎本プログラムへの
参加は「大阪大学FD
ポイント」に反映され
ます。ご自身のFDポイ
ントはCLE上で確認で
きます。

「オンライン市民参加型イベント」における ファシリテーションの技法

講師：八木絵香(CO デザインセンター／社会技術共創研究センター 教授)
水町衣里(社会技術共創研究センター 特任講師)

オンライン 10月26日 13:00-14:30

〈キーワード〉社会学連携、アウトリーチ、市民参加、双方向型ワークショップ

〈概要〉社会技術共創研究センター（ELSI センター）では、気候変動、感染症、再生医療、ゲノム編集、原子力等の科学技術をめぐる課題について、一般市民と専門家が集い、共に考え、問題意識を共有する場づくり（双方向型のワークショップ）を行っています。2020 年度からは、対面で行ってきたこれらの試みを、オンラインに展開して実施してきました。この研修ではそれらの経験を踏まえ、一般市民が参加するイベントをオンラインで実施する際に、とくに議論のファシリテーションに関する技法についての座学と演習を行います。専門分野によらず、一般市民向けのイベントを開催してみたいと思う方にお勧めします。

《受講申込先》：社会技術共創研究センター(ELSI センター)のウェブサイト(https://elsi.osaka-u.ac.jp)に掲載される開催案内ページ内の申込みフォームから必要事項を入力《

問合せ先》：社会技術共創研究センター(ELSI センター) info@elsi.osaka-u.ac.jp》

20名 1.5時間 日本語 オンライン



研究成果をアウトリーチする： 広報と何が違うのか？

講師：坂野上淳(免疫学フロンティア研究センター 特任教授)

オンライン 10月27日 15:00-16:00

〈キーワード〉研究広報、アウトリーチ、研究費

〈概要〉2000 年代前半から「研究のアウトリーチ」という言葉が言われるようになりました。メディア向けにプレスリリースする従来の広報活動に加えて、研究者が一般市民に向けて直接語りかけることが望ましいとされています。日本におけるこうした流れは何によって生じたものか？どのように対処すればいいのか？比較的初期からこの分野に関わってきた講演者が研究アウトリーチの実態と過去に行った好例などの経験談を語ります。

《受講申込先》：10 月 25 日（月）までにメールで直接申込み《

問合せ先》：坂野上淳(免疫学フロンティア研究センター 企画室) j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp》

50名 1時間 日本語 オンライン



研究成果のプレスリリース、どんな効果があるの？ ～国内外から信頼と共感を得るための広報活動～

講師：グローバルイニシアティブ機構

外部講師
企画部 広報課

オンライン 11月11日 14:00-15:30

〈キーワード〉プレスリリース、研究成果発信、メディア、海外

〈概要〉研究成果が、専門分野以外の方にも伝わることで得られるものは何でしょうか？効果を実感しづらいものに対しては、必要だと頭ではわかっていても、なかなか手を付けづらいものです。当研修では、研究成果の国内外への情報発信ツールのひとつ「プレスリリース」について、その効果を知り、サイエンス・コミュニケーションの観点から必要性を改めて学ぶことで、社会とのコミュニケーション、インパクト向上への寄与を考えます。大阪大学における国内外向け研究成果プレスリリースの現状と効果を概観し、外部講師からは、世界の学界におけるサイエンス・コミュニケーションの現状と手法、その効果をデータを交えて教えていただきます。

《受講申込先》：http://osku.jp/FD_PR_2021 ←マイハンダイ申込みフォームへ遷移します《

《問合せ先》：グローバルイニシアティブ機構 大林・小池 gi-strategy@cgin.osaka-u.ac.jp
企画部 広報課 報道係 前田・大石 info@elsi.osaka-u.ac.jp》

50名程度 1.5時間 日本語 オンライン

定員

受講時間

使用言語

研修形式

大阪大学総合学術博物館の役割とその活用方法

講師：横田洋(総合学術博物館 助教)

豊中 11月15日 13:30-15:00

〈キーワード〉大学博物館

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では大学の教育・研究の成果とその歴史を主に展示という手法を用いて、広く社会に発信する役割を担っています。また大学構成員と市民、地元自治体との交流の場としても機能し、社会学連携的な視座を基にした新たな研究を推進する拠点としての役割も求められています。博物館での様々な実践例を参考に、大学博物館の活用の方法を紹介します。なお、新型コロナウイルスの影響により対面での実施ができない場合は、オンラインにて研修を行います。

《受講申込先》：10 月頃に ICHO 掲示板にて受講者募集予定《

問合せ先》：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 [kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》

15名 1.5時間 日本語 対面

大阪大学の歴史

講師：菅真城(アーカイブズ 教授)

豊中 11月26日 15:30-17:00

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《受講申込先》：10 月頃 学内各部署長へメール通知を行う《

《問合せ先》：総務部 総務課 文書管理係 souki-soumu-bunsyo@office.osaka-u.ac.jp》

40名 1.5時間 日本語 対面



映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説

講師：松永和浩(適塾記念センター 准教授)

オンライン 10月～3月（随時）

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画『洪庵と1,000人の若ものたち』に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大学の歴史を社会に発信できる人材を育成する。

・映画『洪庵と1,000人の若ものたち』の鑑賞 50分

・映画の解説（松永 和浩） 40分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。

・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

《受講申込先》：メールにて募集要項・チラシ配布。マイハンダイ申込みフォームにて受講申込み《

《問合せ先》：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 [kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：野村玄(文学研究科 准教授)

適塾 予定(2月～3月頃)
大阪市中心区北浜近辺※現地集合・現地解散予定

〈キーワード〉適塾、適塾見学会、映画、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。

・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。

・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《受講申込先》：1月を目途にメールにて募集要項・チラシ配布。マイハンダイ申込みフォームにて申込み《

《問合せ先》：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 [kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》

25名 1.5時間 日本語 対面

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



社会学連携能力 開発プログラム

適塾から受け継ぐレガシー - 歴史・精神・文化財 -

講師：野村玄(文学研究科 准教授)
島田昌一(医学系研究科 教授)
松永和浩(適塾記念センター 准教授)

吹田 未定 (2月～3月頃)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉緒方洪庵が開いた適塾・除痘館から大阪大学につながる歴史的事実を確認し、洪庵・適塾の教育・研究から阪大に連なる精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを説明します。

- ・適塾から大阪大学へ
- ・緒方洪庵・適塾の教育・研究
- ・文化財としての適塾

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。

- ・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

《受講申込先》：1月を目途にメールにて募集要項・チラシ配布。マイハンダイ申込みフォームにて申込み》

《問合せ先》：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 [✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》

 40名  2.5時間  日本語  対面

限定 言語文化研究科・外国語学部のみ対象

学生支援におけるキャンパスライフ健康支援センターの活用や連携について

講師：太刀掛俊之(キャンパスライフ健康支援センター相談支援部門 教授)

箕面 10月7日 16:00-17:00

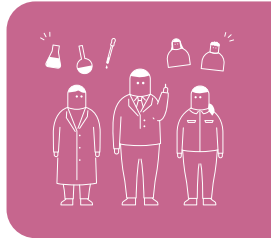
〈キーワード〉心理的問題、合理的配慮、学生支援

〈概要〉本研修では、キャンパスライフ健康支援センター相談支援部門で行われている学生相談や障がい学生支援等の活動内容やプロセスを説明するとともに、学生の諸問題において想定されるケースを取り上げながら、部局に所属する教職員がセンターと連携してどのような対応が取ることができるか、学生支援の在り方を考える機会を提供します。

《受講申込先》：部局内宛に開催通知予定》

《問合せ先》：言語文化研究科・外国語学部 箕面事務室 庶務係 [✉ genbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:genbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 約120名  1時間  日本語  対面



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 文学研究科のみ対象

2021年度ハラスメント防止講習会

講師：根岸和政(工学研究科 コンプライアンス室 講師)

豊中 10月14日 17:30-19:00

〈キーワード〉セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、相談、解決

〈概要〉「ハラスメント」の基本と現状について学び、その後、具体的な事例をもとにグループワークを行う。最後に、問題解決のための議論と整理を行う。
安心して学び・働ける労働/教育環境を維持するために、ハラスメントのない大学を目指すことを目的とする。

《問合せ先》：文学研究科 庶務係 [✉ bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 100名  1.5時間  日本語  対面

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV)

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV) の使用方法 (化学薬品の登録と集計) を習得することを目的としている。
また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 未設定  1時間  日本語  オンライン

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。
また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質・管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とする。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 未設定  1時間  日本語  オンライン

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

 定員

 受講時間

 使用言語

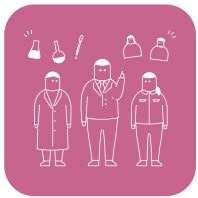
 研修形式

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 10月

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系（生物系・物理系）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系（生物系・物理系等）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とする。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 1.5時間 日本語 対面／オンライン

詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 10月

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とする。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 1時間 日本語 対面／オンライン

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （低温センター豊中分室編）

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

吹田 豊中 オンライン 10月

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 1.5時間 日本語 対面／オンライン

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （低温センター吹田分室編）

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 オンライン 10月

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 1.5時間 日本語 対面／オンライン

大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 豊中 オンライン 10月

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム（OGCS）

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得する。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）の使用方法について説明します。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 1時間 日本語 対面／オンライン

電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とする。

《受講申込先》：各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。各部局担当者に申込み》

《問合せ先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 1時間 日本語 オンライン

限定 高等司法研究科、法学研究科、知的基盤総合センターのみ対象

ハラスメント防止に関する研修会

講師：濱田綾(ハラスメント相談室 助教)

オンライン 11月11日 15:00-15:45

〈キーワード〉ハラスメント

〈概要〉ハラスメント相談室教員を講師として招き、アカデミック・ハラスメントを中心に、具体的事例やハラスメント事案が起きてしまった場合の当事者や周囲の望ましい対応等を解説いただく。これにより、ハラスメント防止を目的とします。

《受講申込先》：対象部局宛にメール発出（時期未定）》

《問合せ先》：法学研究科・高等司法研究科 庶務係 ☐houkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 0.75時間 日本語 オンライン

限定 言語文化研究科、マルチリンガル教育センターのみ対象

言語文化研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

豊中 11月18日 15:10-15:40予定

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉構成員へのハラスメント防止に係る意識啓発のため、ハラスメント防止に係る講演を行います。

《受講申込先》：事前の受講申込は不要》

《問合せ先》：言語文化研究科・外国語学部 豊中事務室 総務係 ☐genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

未設定 0.5時間 日本語 対面

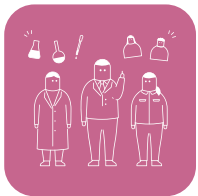
定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

ハラスメント防止等に関する研修会

講師：根岸和政(工学研究科コンプライアンス室 講師)

オンライン 11月25日 14:00-16:00

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉ハラスメント問題は、人間関係の問題であると思います。

良い人間関係の中では、限りなくハラスメント問題は起こり難いはずです。

また、不幸にしてハラスメントの被害者に立たされてしまった時に、良い人間関係にある人がいたら、大きな救いになると思います。

さらに加害者になってしまう人にも、良い人間関係にある人がいたら、自分の言動を心から反省して、同じ過ちを犯すリスクは減ると思います。

組織全体が良い人間関係にあることを想像してみてください。ハラスメントの加害者も被害者も傍観者もそこには存在しないはずです。

一人一人に個性があり、価値観、考えがあります。人間関係にトラウマを抱えておられる方もいるでしょう。

それでも、互いに尊敬の念をもって接することができたら、どんな人生になるでしょうか。

コロナ禍にあって、よい人間関係が希薄になりがちです。このことも踏まえて、良い人間関係の構築について皆さんと一緒に考えて参りたいと思います。

《受講申込先：開催月の1カ月前に各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。申込用URLから直接申込み》

《問合せ先：総務部 総務課 法規係 [✉ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp)》

限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研防災安全講習会

講師：未定

吹田 又は **オンライン** 11月頃

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉所内学生・教職員を対象に、災害時の避難方法、消火器の使用方法等について実地訓練を行い、緊急時の対応法を学び、防災意識の向上を図ることを目的として実施します。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

限定 蛋白質研究所のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：蛋白質研究所 会計係 研究支援係

吹田 又は **オンライン** 11月頃

〈キーワード〉コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止、教員発注制度

〈概要〉不正使用防止計画推進室から提供されたコンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一つとして、公的研究費の運営・管理に関わる教職員向けに講習会を行います。

公的研究費の不正使用を事前に防止するため、使用ルールやそれに伴う責任等についての理解を深めることを目的とします。

《受講申込先：開催の約1カ月前に本局構成員宛てメールにて通知予定》

《問合せ先：蛋白質研究所 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 制限なし
 2時間
 日本語
 オンライン

 200名
 1時間
 日本語
 対面 又は
オンライン

 200名
 1時間
 日本語
 対面 又は
オンライン

限定 言語文化研究科・外国語学部のみ対象

キャンパスハラスメントに関する研修会

講師：未定

箕面 日時未定

〈キーワード〉ハラスメント、ハラスメント対策、ハラスメント防止

〈概要〉ハラスメントに関する講演会を行います。

ハラスメント防止に係る講演を通じ、ハラスメント防止に係る意識啓発を行うことを目的とします。

《受講申込先：部局内宛に開催通知予定》

《問合せ先：言語文化研究科・外国語学部 箕面事務室 庶務係 [✉ genbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:genbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 約100名
 1時間
 日本語
 対面

限定 産業科学研究所のみ対象

ハラスメント防止に関する講習会

講師：大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員

吹田 **オンライン** 11月～2月のうち1日 14:00-15:30

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉講義形式やグループディスカッション等で実例をもとに学習します。

ハラスメントに関する基礎的な事項及び実例等を学ぶことでハラスメントに対する理解を深め、防止を図るとともに、対処方法を学びます。

《受講申込先：所内メールにて通知》

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 人事係 [✉ sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1.5時間
 日本語
 対面 /
オンライン

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式

※掲載内容は8月20日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。